



エコマーク ニュース

Eco Mark News

エコマークは公益財団法人日本環境協会が自主的に運営している事業です。エコマークの活動予算は、すべて認定企業の皆様からのエコマーク使用料ならびに商品認定申込者の皆様からの商品認定審査料でまかなわれています。「エコマークニュース」では、「エコマーク事業実施要領」に基づき、エコマーク事業に関する情報を提供しています。

2016.9.16 No.99

「エコマークアワード2016」募集のお知らせ

エコマーク事務局では、「エコマークアワード」を本年度も実施いたします。この表彰制度は、エコマーク商品等の環境配慮型商品の普及に貢献する優れた取り組みを広く公表するとともに、そのより一層の普及拡大を通じて、持続可能な社会の実現に寄与することを目的として創設されたものです。

本年度の募集要項は以下のとおりです。

〈表彰について〉

- 賞の種類：エコマークアワード 金賞、銀賞、銅賞〔公募〕
プロダクト・オブ・ザ・イヤー〔エコマーク認定商品の中から選考〕
- 選考～表彰の流れ：一次審査（書類審査）、本審査（プレゼンテーション、2016年12月2日実施）を経て受賞者を決定します。表彰式は2017年2月27日（月）に行う予定です。

〈募集について〉

- 募集対象：エコマーク認定商品保有企業またはエコマーク商品等の普及に貢献している企業・団体
（なお、プロダクト・オブ・ザ・イヤーは募集の対象となりません。2015年度、2016年度に認定されたエコマーク認定商品の中から、選考委員会が決定します。）
- 募集期間：2016年8月15日（月）～10月14日（金）
- ◆ 詳細はエコマーク事務局ホームページ（<https://www.ecomark.jp/award/2016/>）をご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしております。



認定基準に関するお知らせ

認定基準策定にあたっての意見ならびに委員候補者の募集について

新規商品類型として選定した「シュレッダー」および「機密文書処理サービス」において、2016年9月1日から9月30日の30日間、認定基準策定に関する意見、ならびに認定基準案を策定する基準策定委員会の委員候補者を募集します。応募方法等詳細は、(<https://www.ecomark.jp/nintei/public/>)にてご確認いた

できます。なお、「バイオディーゼル燃料（仮称）」（新規）および「プロジェクト」（見直し）については、募集は終了しました。

今後、基準策定委員会を設置して認定基準の策定、見直しを検討します。

認定基準の制定

以下の認定基準が制定されましたので、お知らせいたします。

類型番号	商品類型名	制定日	有効期限
119	パーソナルコンピュータ Version 3	2016年9月16日	2023年9月30日
159	サーバ類 Version 1		2023年9月30日
140	詰め替え容器・省資源型の容器 Version 1.10 分類F. 植物由来プラスチックを使用したPETボトル（容器）		2022年6月30日

◆認定基準は（<https://www.ecomark.jp/nintei/>）をご覧ください。

■ No.119「パーソナルコンピュータ Version 3」（Version 2 基準見直しによる新基準制定）

省エネ性能の向上や、モバイル化やタブレット端末などの著しい普及を踏まえて基準の全面見直しを行い、Version 3 として制定しました。適用範囲につい

ては、グリーン購入法や省エネ法と整合を図ったほか、エネルギースタープログラムで対象としているタブレット端末も新たに対象としています。

■ No.159「サーバ類 Version 1」（新基準制定）

これまでエコマークの対象となっていなかったサーバ類について、新たに認定基準を制定しました。グリーン購入法「電子計算機」で対象としている「サー

バ型電子計算機」のうち、オフィス等で使用される小型タワーサーバを対象としています。

上記のNo.119、No.159認定基準は、制定から3年後に満たさなければならない将来基準（基準値等の引き上げ）を予め設定しており、一度認定を取得した商品であっても、3年後に後継機種等の追加申請を行う場合には、さらに高い環境性能が求められます。また、近年、世界的にも注目されているサステナビリティに関する観点についても評価範囲に加えています。

■ No.140「詰め替え容器・省資源型の容器 Version 1.10」（適用範囲の拡大）

一分類F. 植物由来プラスチックを使用したPETボトル（容器）
植物由来プラスチックを原料の一部に使用したPETボトルは飲料メーカーによる採用が進んでおり、消費

者の関心も高まりつつあります。こうした市場動向を踏まえ、容器包装の適用範囲を拡大し、本分類を追加制定しました。

認定基準の改定

以下の認定基準の部分的な改定を行いましたので、お知らせいたします。（Version の No. は改定前のもの）

類型番号	商品類型名	改定のポイント	改定日
155	複写機・プリンタなどの画像機器 Version 1.1	グリーン購入法で対象としている「リユースに配慮した複写機等」を適用範囲に追加	2016年7月1日

◆改定点の詳細については（https://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation_data/）をご覧ください。

新 認定商品のご紹介

すべての直営ホテルでエコマーク認定を取得——帝国ホテル

旅行やビジネスの宿泊、各種イベントなどに使用されるホテルや旅館においては、サービスの質の向上に加え環境への配慮が重要なテーマとなっており、環境に対する利用者の認識や行動を促すという観点からも取り組みの充実が期待されています。

開業以来120余年にわたる歴史をもつ帝国ホテルは、これまで全社的に進めてきた環境活動が評価され、エコマーク商品類型No.503「ホテル・旅館 Version 1」において、すべての直営ホテルで認定を取得しました（認定番号16 503 001～004）。

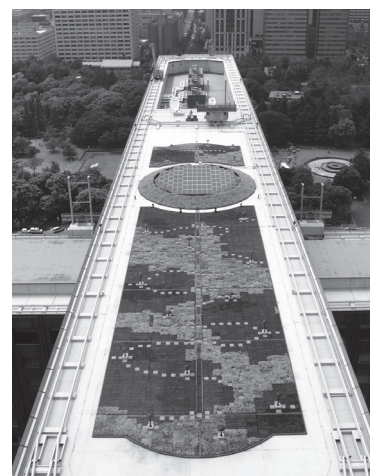
■ 広範な環境活動を推進

帝国ホテルでは環境活動の基本方針において、快適性、安全性、利便性の提供と同時に環境への配慮に努めるとの考え方を明記しており、活動分野別にチームを組織し継続的な取り組みを推進しています。

資源・エネルギーの消費削減に向けては、LED電球の共同開発や館内照明への導入促進、空調設備の運転コントロール、従業員のパソコンの省エネ設定などの取り組みを進めています。また、客室のバスルームで使用された水道水をホテル内でろ過・殺菌し、従業員用のトイレの洗浄水として再利用しています。

廃棄物削減や資源循環の推進においては、レストランや宴会場で発生する食物の残りを肥料に再生する取り組みを進めており、さらに、再生肥料を使って栽培された野菜や米を購入し、メニューの一部に使用しています。また、スリッパ、歯ブラシなど客室で使用されたアメニティの分別回収・リサイクルに取り組んでいます。

同社では環境に配慮した商品の購入・利用にも力を



帝国ホテル東京本館の太陽光発電施設を組み合わせた屋上緑化（既存の高層建築物として最初の事例）

入れており、紙のリサイクル活動への参加と再生紙を使用した衛生紙等の購入、リサイクルタイルカーペットの導入など、幅広い分野で取り組みを行っています。このほか、太陽光発電設備を組み合わせた屋上緑化、グリーン電力の購入、宿泊客の要望に基づくリネン不交換の対応など、多様な活動を展開しています。

さらに、社内環境ポスターの掲示、社内報を通じた情報共有、社内環境ツアーやワークショップなどを組み込んだ社内環境セミナーの開催などにより、従業員の環境意識の向上と行動の促進に結びつけています。

■ 4つのホテルが認定基準をクリア

帝国ホテルでは、これまでの継続的かつ包括的な環境活動を踏まえエコマーク認定に取り組み、2016年6月に直営ホテルである帝国ホテル東京、帝国ホテル大阪、上高地帝国ホテル、ザ・クレストホテル柏のすべてにおいて認定を取得しました。

審査にあたっては、環境面における運営・管理体制、環境負荷低減に向けた取り組み、環境コミュニケーションなど25項目におよぶ厳しい審査基準をクリアするとともに、客室から出たごみの分別徹底、環境活動の普及啓発に向けた情報発信、組織全体で環境活動を推進している点などが評価されました。

同社では、「社会とともに」「お客様とともに」「従業員とともに」の3つの視点で環境活動を推進しており、今回のエコマーク認定取得を受け、事業活動に伴う環境負荷の低減に一層努めるとともに、利用客などへの情報発信や地域社会との連携を通じて環境活動の広がりにも貢献していく考えです。



社内環境ツアーの様子

トピックス

環境イベントに参加しました

■ 6月4日、5日 エコライフ・フェア 2016（環境省）

毎年、環境月間の最初の週末に開催される環境イベント「エコライフ・フェア」に、本年度も出展しました。生活シーンで身近なエコマーク商品やパネルを展示し、多くの来場者にエコマークをアピールしました。

■ 7月9日、10日 大館市エコフェア

（秋田県大館市）

ハチ公の生まれ故郷である大館市でのイベントに参加しました。地元産秋田杉を使用した樹海ドームにて、地域で活動する環境団体や企業展示の一環として、エコマークのアピールを行いました。今回で10回を迎え

た本イベントには、多くの地域の方が集いました。



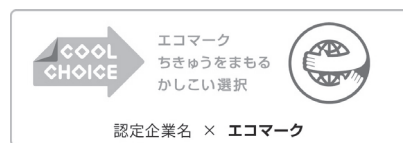
「大館市エコフェア」のエコマークブース

お知らせ

「COOL CHOICE × エコマーク」コラボレーションロゴのご案内

エコマーク事務局は、環境省が推進する「COOL CHOICE」に賛同しています。その取り組みの一環として、エコマーク使用契約企業のみが使用できるオリジナルの「COOL CHOICE × エコマーク」コラボレーションロゴの提供を開始しました。詳しくは、エコマーク事務局ウェブサイト「COOL CHOICE × エ

コマーク」コラボレーションロゴ案内ページ（https://www.ecomark.jp/info/new/cool_choice.html）にてご確認ください。



各地で開催される環境イベントへの出展予定

- ・ 10月22日（土）、23日（日）「環境フェスティバル ふくおか2016」（環境省九州地方環境事務所福岡事務所ブースへの共同出展）：福岡市役所西側ふれあ

い広場（福岡県福岡市）

- ・ 11月12日（土）「なかのエコフェア2016」：中野区役所 正面玄関前広場（東京都中野区）

エコプロ2016に出展します

エコマークは、12月8日（木）～10日（土）に東京ビッグサイトで開催される「エコプロ2016」に出展します。展示等についての詳細が決まり次第、エコマー

ク事務局ウェブサイトおよびメールマガジンにてご案内いたします。

エコマークニュース 第99号 2016年9月16日発行

編集・発行／公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F

TEL: 基準・認証課 03-5643-6253 FAX: 03-5643-6257（各課共通）

総務・契約監査課 03-5643-6255

普及・国際協力課 03-5643-6255

Homepage: <https://www.ecomark.jp>

E-mail: info@ecomark.jp



エコマークは（公財）日本環境協会の登録商標です。